

## 第2回長瀨町地域創生推進会議 摘録

会 議 名	第2回長瀨町地域創生推進会議	
日 時	平成27年10月29日(木) 午後2時から	
場 所	長瀨町役場 3階会議室	
出席者氏名	委 員	新井利朗委員、染野益代委員、板谷定実委員、村山勝委員、高橋英之委員 齋藤慶子委員、外池秀彦委員、前田千恵子委員、五十嵐元克委員、小暮俊明委員、 坂本義人委員、鷹啄泰則委員、近藤ヨウ子委員、眞壁恵一郎委員、市川健一委員
	オブザーバー	埼玉県秩父地域振興センター所長 槍田義之氏
	事務局	平健司副町長 企画財政課 齋藤英夫課長、中畝康雄主幹、長島大悟主事  計画策定業務委託業者 (株)ジャパンインターナショナル総合研究所
欠席者氏名	豊田世津夫委員、新井孝彦委員、大澤優巳委員	
次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委嘱状交付</li> <li>3 会長あいさつ</li> <li>4 議題 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 長瀨町人口ビジョン(案)について</li> <li>2) 総合戦略策定に伴う事業提案について</li> <li>3) スケジュールについて</li> <li>4) その他</li> </ol> </li> <li>5 閉会</li> </ol>	
資 料	資料1 長瀨町人口ビジョン(案) 資料2 アンケート調査仕様・回収結果、アンケート自由回答一覧 資料3 総合戦略策定に伴う事業提案 資料4 スケジュール	
議 事 内 容	次ページ以降の通り	

## 議 事

### 1 開会

### 2 委嘱状交付

(委嘱状の交付)

### 3 会長あいさつ

(五十嵐会長によるあいさつ)

### 4 議題

#### 1) まち・ひと・しごと創生事業の概要説明

会 長 : 事務局より説明をお願いします。

事 務 局 : (資料1 (第1章・第2章) に基づいた説明)

会 長 : 今、事務局より第1章・第2章の説明がありました。ご質問はございますでしょうか。

委 員 : 産業別男女別就業者数のうち、観光業はどれにあたりますか。

事 務 局 : 「宿泊業、飲食サービス業、娯楽業」「複合サービス業」にあたります。「観光業」という分類はありません。

会 長 : 他にありますか。

委 員 : 人口のシミュレーションをしていますが、合計特殊出生率が2.1まで上がることを仮定していますが、非常に難しく、現実的に無理なのではないでしょうか。

事 務 局 : 国が示した方法に沿ってシミュレーションをしています。2.1は人口置換水準に近い数字になります。シミュレーション1は最終的に合計特殊出生率を2.1まで上げていくものであり、シミュレーション2では、さらにそこから移動均衡、出ていく人を0にしていくため、さらに上乘せした推計が出てきます。実際人口をここまで持つていくことは難しいところですが、人口の展望を決めていくにあたってのシミュレーションとして出させていただいたものなので、この数字が目指していく数字ではありません。

委 員 : ここまで持つていければいいですが、難しいと思います。周りでもお子さんが一人の人がほとんどです。ありえない状態をシミュレーションしても意味がないのではと感じています。

事 務 局 : あくまでシミュレーションです。人口減少を抑制するためにどうしたらいいかの施策をこれから考えていくところです。そのための参考として捉えていただければと思います。

会 長 : 他に質問が内容なので、続いて第3章の説明をお願いします。

事 務 局 : (資料1 (第3章) に基づいた説明)

会 長 : 第3章では、統計の結果を整理し、その上でアンケートの結果を踏まえ、課題をまとめていただいたところです。

先日新聞の記事で出ていましたが、老後は別の地域に住みたいという人が19%で、特に東京圏の若い人が多くなっていました。その条件として、気候が安定していることや医療・福祉が整っていることが挙げられていました。そういったことを長瀬町でも整備していければいいのではないかと思います。

何かご質問はございますでしょうか。

- 委員：住まいについての設問は若者と一般を合わせた結果ですか。
- 事務局：若者だけになります。
- 委員：若者だけでもバリアフリーのニーズが高くなっているんですね。
- 会長：他に質問が無いようなので、続いて第4章の説明をお願いします。
- 事務局：（資料1（第4章）に基づいた説明）
- 会長：ただいま人口の将来展望について説明がありました。目指すべき将来の方向では、今後検討する総合戦略につながることを示していただいたかと思います。
- 委員：この方針に沿って人口が横ばいに沿っていくことはいいと思います。観光産業は長瀬町はどのようなものだと認識していますか。
- 事務局：観光に携わる産業すべてが関わってくると考えています。観光によって収入を得ているものすべてを考えています。
- 委員：観光産業を軸に、ということですが、町は本当にそこを考えているのか、ということをお伺いしたかったところです。
- 委員：宝登山ロープウェイの売店の脇に立ち食い蕎麦が移転していますが売上も少ないので、売店も兼務しているようです。収益を狙ってやったものの、実際はそうでもなかったと感じています。観光振興とは言いますが、やっていくには難しいものだと感じました。
- 会長：意見として承っていきたいと思います。
- 委員：今、ハイキングに来る人も、弁当や水筒を持参している人が多く、地域にお金が落ちない状況になっていると思います。観光振興といいますが、どうやったらお金が地域に落ちるかまで考えていただきたいと思います。
- 事務局：これから作成する総合戦略で位置付けていくものを検討していきます。庁内の創生本部でもんだものを皆さんに諮っていくこととなりますが、まずはここで人口ビジョンについて内容を了承していただき、それから、具体的な事業の検討をしていきたいと思います。
- 委員：有配偶者率の統計についてですが、離婚してから町に戻ってきた人は含まれていないのでしょうか。
- 事務局：あくまでも婚姻されているかたなので、含まれていませんが、合計特殊出生率には含まれています。
- 委員：船下りの船頭さんなどもそうですが、長瀬町の外から働きにきている方が多くいます。仕事がないとって外に出ていく人もいますが、長瀬に働きにくる方も多くいると思います。町の中での雇用を今一度見直す必要があると思います。また、長瀬ならではのものを打ち出していきべきだと思います。長瀬の人も利用するし、外の人にも利用するものを考えるべきだと思います。
- 会長：意見として承っていきたいと思います。今後総合戦略に入ってくると思います。

## 2) 総合戦略策定に伴う事業提案について

- 事務局：（資料3に基づいた説明）
- 会長：今事務局より説明がありました。事業提案の内容をもとに今後総合戦略が作られてくると思います。
- 事務局：資料3については、役場で出た意見、皆さまからいただいた意見全てが載っています。5年間でできるものを位置付けるため、全てを総合戦略に載せていくことはできません。そのため、次回までにどの事業を入れていったらよいかを精査していただければと思います。

- 会 長 : この場で提案していただくのは難しいと思いますので、次回までによく読んで検討していただきたいと思います。
- 委 員 : まずお願いですが、もう少し事前に資料をいただければと思います。
- 会 長 : 事務局にお預けいただければと思います。
- 委 員 : 基本方針3、基本方針4については、どうしてもやっていかなければいけないと思います。一方で基本方針1、2については、攻めの姿勢で取り組んでいかなければいけないところですが、どこに力を入れるべきか、どこに重きを置いたら成功することができるかをデータで示しながら検討していただきたいと思います。
- また、観光産業を軸にしていくということですが、以前議会で長瀬町にある日本一の甌穴を危険だから埋めてしまうという町長の答弁がありました。せっかく歴史的にも貴重な資源が長瀬町にあるのにもかかわらず、それを埋めてしまうのはいかがなものかと感じました。これは活かしていくべき意見だと思います。
- 委 員 : 埋めるというよりも、危険を防ぐ措置かと思います。
- 委 員 : 危険であれば監視体制をどうするかを考えてほしいです。日本一の甌穴があるのにもかかわらず、それを活かさないという姿勢で本当に観光産業の振興ができるのかと思います。
- 会 長 : 活用方法も含めて検討いただければと思います。
- 他にないようですので、それでは議題3についてお願いいたします。

### 3) スケジュールについて

- 事 務 局 : (資料4に基づいた説明)
- 会 長 : 今、事務局よりスケジュールの説明がありましたが、総合戦略の検討のために会議を1回増やしたいということですが、いかがでしょうか。
- 一 同 : 異議なし。
- 会 長 : では、そのようにスケジュールを進めていただければと思います。

### 4) その他

- 委 員 : 次回は具体的な事業を検討していくことだと思います。すでに出ている提案一覧の資料を見ていただければより具体的な検討ができると思います。
- 事 務 局 : 総合戦略のたたきを作りますので、それをもとに検討していただくこととなります。
- 委 員 : 提案一覧との関係はどうなるのでしょうか。
- 事 務 局 : 提案されたものについて、精査、審議していくこととなります。事業の内容についても策定後に進捗管理しながら整理していくものになります。ここに載らないからできないのではなく、毎年度できるものを検討しながら戦略を見直していくものになります。皆さんから頂いた提案は参考とさせていただきます。
- 委 員 : 提案についてもいいものも挙がっていますので、ぜひ皆さん目を通していただければと思います。

## 4 閉会

(終了)